

Information News 第195号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2021年12月11日～2021年12月17日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。
<https://food-analab.jp/news/index.html#back-number>

★★★分析テクノサービスからのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、2021年12月6日（月）より電話受付時間を変更させていただきます。

【変更前】 平日 10:00～16:00 （土日祝日を除く）



【変更後】 平日 10:00～17:00 （土日祝日を除く）

なお、ホームページ・FAXからの試験分析ご依頼、お問い合わせは、常時受け付けております。

引き続き、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

★★

<厚生労働省>

・原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限の設定
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22649.html

・薬生食輸発1213第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（イスラエル産食品のアフラトキシン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000865888.pdf>

⇒イスラエル産ピスタチオナッツを含む食品からアフラトキシンが検出され、当該製造者の製品に対して検査命令となっています。

・薬生食輸発1217第3号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（エクアドル産カカオ豆、ケニア産コーヒー豆、コートジボワール産及びベネズエラ産カカオ豆の2，4-ジクロロフェノキシ酢酸並びにニュージーランド産はちみつのグリホサート）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868171.pdf>

⇒12月17日より、農薬2，4-Dの名称が2，4-ジクロロフェノキシ酢酸に変更されています。また、はちみつに対する農薬グリホサートの残留基準値が0.01ppmから0.05ppmに緩和されています。

・薬生食輸発1213第4号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（インド産発酵茶のエチオン及びオーストラリア産牛肉のアピラマイシン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000865890.pdf>

・薬生食輸発1216第1号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（インド産小麦のプロフェノホス）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000867807.pdf>

・薬生食輸発1217第2号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（アルゼンチン産はちみつのグリホサート並びに水産食品のゲンチアナバイオレット並びに野菜、果実、穀類、豆類及び種実類の2，4-ジクロロフェノキシ酢酸）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868172.pdf>

⇒以下の農水畜産物について、検査頻度に変更されています。

インド産発酵茶の農薬エチオン：30%⇒通常（緩和）

オーストラリア産牛肉の動物用医薬品アピラマイシン：30%⇒通常（緩和）

インド産小麦の農薬プロフェノホス：通常⇒30%（強化）
アルゼンチン産はちみつの農薬グリホサート：30%⇒通常（緩和）

・事務連絡「組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続を経た旨の公表について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000865887.pdf>

⇒LFS株（※）を利用して生産された酵素リパーゼが、組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続を完了しています。

（※）糸状菌Aspergillus nigerを宿主として、Fusarium 属株由来のトリアシルグリセロールリパーゼ遺伝子を導入して作製した株。

・薬生食輸発1213第3号「オーストラリア産かきの取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000866083.pdf>

・薬生食監発1217第1号「スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868769.pdf>

・薬生食監発1217第2号「輸入生食用かきの取扱いについて（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868929.pdf>

・生食発1217第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868930.pdf>

⇒グリホサートなど48項目の農薬・動物用医薬品について、残留基準が改正されています。これにより、はちみつの農薬グリホサートに対する残留基準値は、従来の一律基準0.01ppmから0.05ppmに緩和されています。

⇒動物用医薬品ゲンチアナバイオレットについて、「食品において「不検出」とされる農薬等の成分である物質」として規定されました。

・「食品、添加物等の規格基準に定められた食品に残留する農薬等の試験法における留意事項について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000868940.pdf>

⇒動物用医薬品ゲンチアナバイオレットについて、試験法が追加されました。

・遺伝子組換え生物等の第二種使用等のうち産業上の使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令別表第一号に基づき厚生労働大臣が定めるG I L S P 遺伝子組換え微生物の一部を改正する件（案）に係る御意見募集について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet>

</Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495210316&Mode=0>

<農林水産省>

・第1回持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議の開催について

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/211215.html>

⇒12月16日に開催されました。

参加者名簿

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/kikaku/attach/pdf/entaku_kaigi-7.pdf

・「野菜を食べようプロジェクト」ロゴマークの決定について

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/211215.html>

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/attach/img/211215-1.jpg>

・6次産業化や地産地消等の優れた取組を表彰

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/seisaku/211215_4.html

・年末年始の牛乳消費拡大に向けて「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」開始！

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/211217.html

⇒いつもよりも1杯多く飲んでいただいたり、1本多くご購入いただくなど、牛乳や乳製品の消費拡大に御協力をお願いいたします。

<消費者庁>

・食品表示法に基づく食品表示基準の一部改正に係る消費者委員会への諮問について
<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026945/>

・第2回食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議の開催について（開催日：12月22日（非公開））
<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026573/>

＜厚生労働省 食品衛生申請等システム掲載の回収情報＞

アレルギー 13件
消費/賞味期限 6件

農薬/動物用医薬品 4件

茨城県産春菊の農薬フェントロチオン、農薬ヘキシチアゾクス、農薬ルフェヌルノン2
宮崎県産ニラの農薬アセタミプリド
神奈川県産キュウリの農薬アセフェート、農薬メタミドホス

異物 2件

キムチ：ビニール片
干し柿：虫

添加物 2件

ブランデー：亜硫酸塩
辛子明太子：着色料

微生物 1件

生力キ：E.coli基準値超過

品質異常 1件

牛乳：異味異臭

その他 1件

弁当：未加熱肉使用

計30件

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

1位 2位 3位 4位 5位

12/12- 異物分析 官能/物性 残留農薬 栄養/機能 アレルギー
12/ 5- 異物分析 官能/物性 残留農薬 栄養/機能 アレルギー
11/28- 栄養/機能 残留農薬 異物分析 官能/物性 アレルギー

↓残留農薬/動物用医薬品のページはこちらです↓

<https://food-analab.jp/service/pesticide.html>

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールマガジンがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

※お客様から頂戴した個人情報、本メールマガジンのほか、DM、キャンペーン案内、アンケート等の送付に利用させていただく場合がございます。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース担当
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
TEL:043-237-5676 FAX:043-237-2912
URL:<https://food-analab.jp/>



